

## 1. 目的及び業務内容

群馬大学医学部附属病院がんセンターは、各種がんの治療方針等を診療科・部の枠を超えた多職種で検討し、がん診療の向上を目指すことを目的とし、以下の業務を行う。

- (1) 個別のがん患者の症例及び治療方針の検討に関すること。
- (2) その他がんセンターに関すること。

## 2. 領域別がんセンターの構成メンバー

領域別がんセンターには、以下の者が参加し、横断的に透明性をもって議論する。

- (1) がんセンターリーダー
- (2) サブリーダー
- (3) 担当医師・歯科医師，及び関連する診療科医師
- (4) 薬剤師
- (5) 看護師
- (6) その他適切な医療を提供するために必要な関係者（学外者を含む）

年に1度、各領域別がんセンターの参加者の推薦により、がんセンターリーダー、サブリーダーを決め、当該領域がんセンターの業務を統括し、意見の一致が得られるよう努める。がんセンターリーダーに支障がある時はサブリーダーが代行して業務の統括を行う。

## 3. 開催日程

目安として月に1回以上の開催が望ましい。がんセンターリーダーは、領域別がんセンター毎に開催日程を定め、参加者への周知を行う。また、開催1ヶ月までに開催日程を腫瘍センターへ報告する。

腫瘍センターでは、すべての領域別がんセンターの日程の連絡を受けた後、院内掲示を行う。また、腫瘍センターのホームページ及びGUNMAS上へ情報を公開する。

## 4. 開催記録

各領域別がんセンターでまとめた開催記録を作成する。開催記録は、以下の項目を記載し、各領域別がんセンターで1部のみ作成し、腫瘍センターに1部提出する。

- (1) 開催日時
- (2) 参加者名
- (3) 検討内容

## 5. 方針の決定

領域別がんセンターにおいて、積極的かつ透明性をもって議論し、治療方針は全会一致での決定を原則とする。なお意見が分かれたときは、議論を尽くした上で診療科責任医師が決定することとするが、必要があれば各領域別がんセンターリーダーが決定することも可能とする。